

第3回 北部地域振興交流拠点連絡調整会議【概要】

日 時：令和6年3月26日（火）15時30分～16時00分

場 所：Web会議

出席者：堀口議長、高柳副議長、都丸委員、浪江委員（代理：埼玉県産業拠点整備推進幹）、本多委員、小平委員、山下委員

1 会議の進め方と目的

- ・本日の会議は、北部地域振興交流拠点において想定される主な機能の検討結果を報告し、来年度の基本構想策定のベースとなる部分について情報共有を行うものである。

2 想定される機能に関する主な説明

- ・県では、「DXを前提とした未来のオフィス」「地域機関の集約」「産業振興機能」等について引き続き検討を進めたところ。
- ・「未来のオフィス」について、県庁の若手職員による検討などを行っており、これらの検討内容を北部地域振興交流拠点にも取り入れていきたいと考えている。来年度、基本構想の策定を進める中で、先進事例調査を踏まえてより具体的に検討し、オフィスのレイアウトイメージなども作成していきたいと考えている。
- ・「地域機関の集約」について、今後のDXの進展を見据えたオフィスや仕事のあり方を整理した上で、県民や事業者の利便性や職員の働きやすさの観点から、どの機関を集約すべきか、ゼロベースで検討していく必要がある。来年度の検討にあたっては、ヒアリングやDX先進事例調査等により、具体的な執務空間や来客対応、コミュニケーション手法等についても研究していきたいと考えている。
- ・「産業振興機能」について、昨年度に引き続き、今年度も有識者による検討委員会で提言にまとめていただいたところ。今回の提言のポイントは、全体像としては、未来志向を意識してDXの深化や社会情勢の変化に柔軟に対応するということとし、施設としては食や農業、観光、スポーツなど北部地域の特色を活かすなどとしている。産業振興施設について今年度までの検討内容で決定というわけで

はなく、来年度に予定される基本構想の策定の中で、県庁のDXの方向性など、他の要素と融合しつつさらなる検討を進めていきたい。

- ・市としては、行政機関連携による市民サービスの向上ということで、まずは市の庁舎整備の考え方を整理する必要があるとあり、市議会議員や外部有識者等を委員に含めた熊谷市庁舎整備検討委員会を設置した。先日開催した第1回会議において、市の庁舎機能の一部または全部を北部拠点に移転することを前提として、来年度の基本構想策定に向け、導入機能や規模等について検討を進めるという方向性を決定したところである。来年度は、当検討委員会での議論を深め、基本構想策定支援業務委託により、具体的な床面積やフロア構成のパターン等についても示したいと考えている。

3 その他

- ・県と市それぞれの北部地域振興交流拠点に係る来年度の予算案や組織体制について報告し、情報を共有した。
- ・来年度の検討の進め方について、これまで以上に会議等の意思疎通を図る機会が必要であり、今年度の検討内容を発展させた形で引き続き議論をしていくことを確認した。